

# 西川商工会 地区内景況調査の実施及び結果について

西川商工会では、平成29年下半期を対象とした西川地区内の景況調査（ヒアリング）を実施致しました。

地区内30事業所様から回答にご協力いただき、調査結果がまとまりましたので以下のとおり公表致します。

今回の調査結果を踏まえて、今後の経営改善普及事業に役立てたいと考えておりますので、皆様よりご要望等ございましたら、是非ともお聞かせ願います。

## 1. 調査対象と回答企業の構成



	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	4	13.3%	4	13.3%
建設業	10	33.3%	10	33.3%
卸・小売業	7	23.3%	7	23.3%
サービス業	9	30.0%	9	30.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

全体的に低迷傾向が強く、売上が伸び悩む中、資材の値上げ傾向が続いており、収益を圧迫している。一部業種、事業所においては堅調であるが、人手不足は深刻化しており、事業の拡大を妨げる要因の一つとなっている。後継者不在の事業所が多数を占めることから事業承継問題が一層深刻となっている。

### 【後継者の状況】

後継者なしが70%となっており、前回調査56.7%から大きく悪化している。商店街においては空き店舗の増加が懸念される。

後継者 あり	9事業所	30.0%
後継者 なし	21事業所	70.0%

### 【売上高】

減少の回答が多いが、増加の回答も前回調査時より増えている。大型店、競合店とは異なる独自の魅力の構築と環境の変化に対する適応力が問われている。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
5	7	18

#### 前期比

増加	不変	減少
6	12	12

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
7	7	16

### 【採算】

仕入単価の上昇を価格転嫁できない事業所も多く、悪化傾向が続いている。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
3	13	14

#### 前期比

好転	不変	悪化
2	16	12

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
3	9	18

### 【仕入単価】

前回調査時より上昇と回答する事業所が増加している。需要が低迷している中、価格転嫁を行いにくい状況が続いている。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
15	8	7

#### 前期比

上昇	不変	低下
13	11	6

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
15	8	7

### 【販売（客）単価】

前回調査時とほぼ同じ傾向を示しており、仕入単価の上昇に反して客単価が不変又は減少している事業所が多く、収益を悪化させている。付加価値を高めた商品、製品の提供や提案型営業による客単価増加への取り組みが必要と思われる。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
2	20	8

#### 前期比

上昇	不変	低下
2	19	9

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
3	15	12

### 【資金繰り】

地元金融機関、政府系金融機関ともに積極的に融資を行っているが、好転していると回答する事業所は少なく、採算の悪化から資金不足を招いていると思われる。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
0	20	10

#### 前期比

好転	不変	悪化
0	19	11

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
2	18	10

### 【雇用動向】

不変との回答が主であるが、業種によってバラつきが大きく、人手不足が深刻となっている事業所もあり、事業拡大の妨げる要因となっている。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
0	24	6

#### 前期比

増加	不変	減少
0	24	6

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
2	22	6

### 【景況判断】

前回調査時より好転と回答する事業所は増加しているが、各期において半数以上が悪化と回答していることから、全体的に低迷しており明るい兆しは見えない。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
5	10	15

#### 前期比

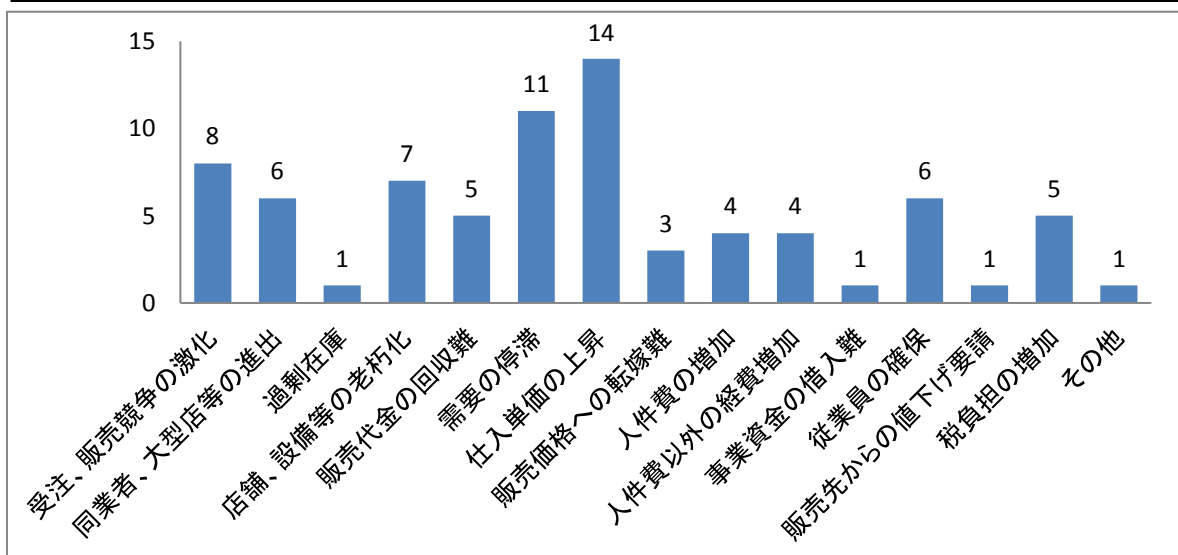
好転	不変	悪化
4	10	16

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
7	5	18

### 【経営上の問題点】

前回調査時は需要の停滞が最多であったが、今回は仕入単価の上昇が最多となった。適正な価格転嫁ができない事業所においては収益の悪化が避けられない状況となっている。業績が良好な事業所においては税負担の増加が問題となっている。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

売上は上昇傾向を示しているが、材料仕入れの上昇傾向が続いていたために、採算・資金繰り共に横ばいとなっている。

景況判断を好転とする企業が多いが、4社全てが仕入単価の上昇を経営上の問題点としており、適正な価格転嫁が必要となっている。

#### (2) 建設業

前回調査時において住宅建築関連は住宅ローンの低金利とリフォーム需要により安定傾向であったが、今回調査では各項目共に悪化の傾向を示している。

資材の価格上昇が続いており、人件費（外注費）の上昇と相まって採算が悪化している。人手不足も深刻となっており、経営上の問題点としてあげる事業所も多い。

#### (3) 卸・小売業

卸・小売業の調査先7社の内、後継者がいない事業所が6社あり、事業承継が深刻な状況となっている。

売上の減少傾向は続いており、事業主の高齢化と併せ廃業の増加が懸念される。個別店舗の経営改善とあわせて商業を活性化させる取り組みを地域全体で行うことが必要と思われる。

#### (4) サービス業

顧客の高齢化により客数の減少が続いている事業所が多い。経営上の問題点として店舗、設備等の老朽化をあげる事業所が多く、設備投資の必要性を感じながらも売上、採算の悪化から踏み切ることができない様子が伺える。

小規模事業者持続化補助金等の公的支援の利活用により、新たな顧客開拓をはかる取り組みが必要と思われる。

(様式⑤)

No.	
-----	--

### 景況調査ヒアリングシート (平成29年度)

調査対象期間 平成29年7月～12月

(調査時点 平成29年12月1日)

商工会名		商工会		担当職員名	
企業 の 概 要	業 種	1:製造 2:建設		3:卸・小売業 4:サービス他	
	従業員数	1:0人 2:1人～2人		3:3人～5人 4:6人～20人 5:20人超	
	企業区分	1:小規模事業者		2:小規模事業者以外	
	後継者の有無	1:有		2:無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H28年7～12月) と比較して	前期 (H29年1月～6月) と比較して	今期 (H29年7～12月)と 比較した来期(H30年1～6月) の見通し
売 上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕 入 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資 金 繰 り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇 用 動 向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景 況 判 断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化
- ②同業者、大型店等の進出
- ③過剰在庫
- ④店舗、設備等の老朽化
- ⑤販売代金の回収難
- ⑥需要の停滞
- ⑦仕入単価の上昇
- ⑧販売価格への転嫁難
- ⑨人件費の増加
- ⑩人件費以外の経費増加
- ⑪事業資金の借入難
- ⑫従業員の確保
- ⑬販売先からの値下げ要請
- ⑭税負担の増加
- ⑮その他 ( )

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--